

3 L R Tの検討ルートの設定

L R Tの検討ルートの設定に当たっては、

- ・ 中心市街地 の活性化及び観光客の移動支援などのまちづくりからの視点
- ・ 既存公共交通の強化（バス輸送の代替）及び交通拠点間の連絡強化など公共交通の利便性向上の視点

を踏まえて、本調査では、**西大路通・北大路通・東大路通・九条通で構成される「外郭線」より内側の、いわゆる「都心地域」**を検討対象とする。

本調査では、

中心市街地：五条通 - 河原町通 - 御池通 - 堀川通で囲まれた地域

（「都市計画マスタープラン」による）

都心地域：東大路通 - 北大路通 - 西大路通 - 九条通で囲まれた地域

（「交通まちづくりプラン」による）

とする。

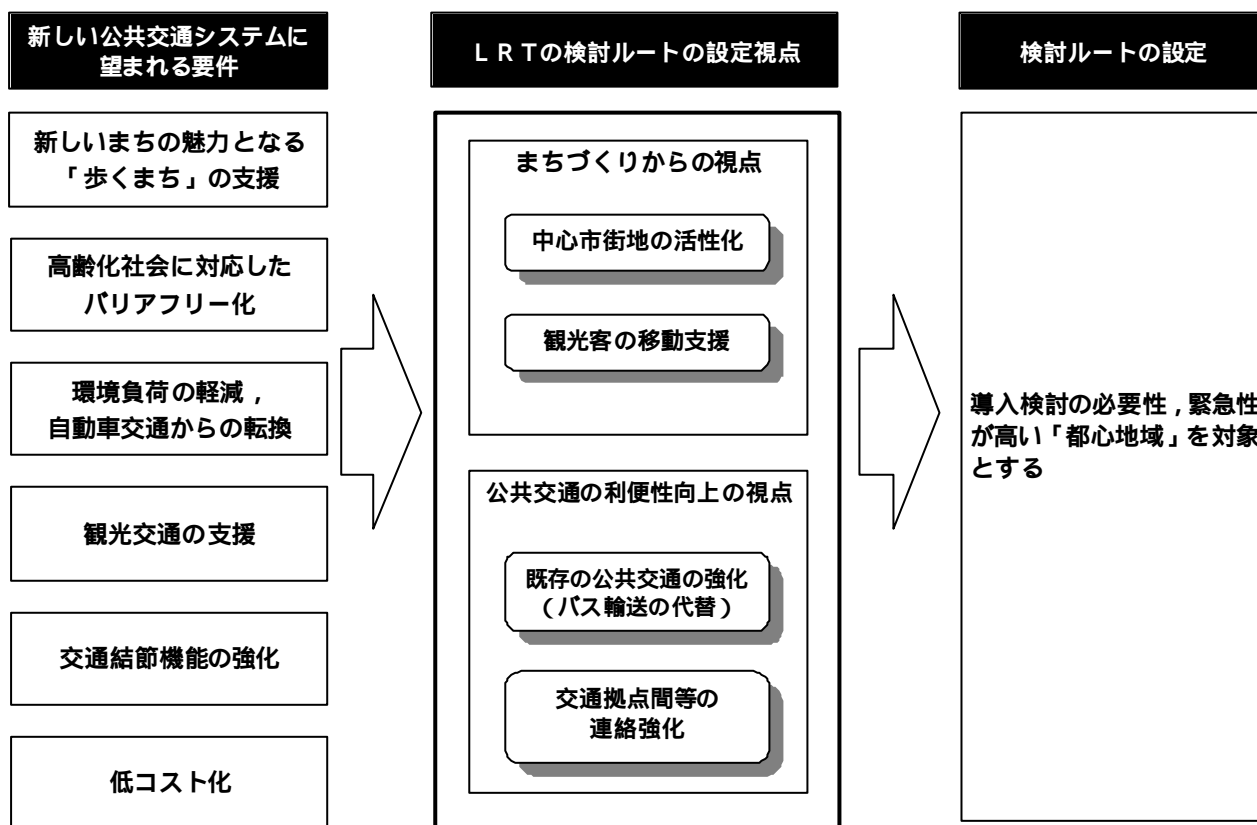


図 L R Tの導入が望まれる区間の設定の視点

- “ L R Tの検討ルート設定の考え方 ”を受けて、都心地域を対象に具体的なルート設定を行った。その結果、検討ルートとなったのは次の7ルートである。

表 検討ルート

ルート	名称	主な導入経路等	ルート設定の考え方	中心市街地の活性化	観光客の移動支援	交通拠点間等の連絡強化	既存の公共交通の強化
ルート1	河原町線	京都駅 ┌ 三条京阪 - 東山三条 └ 四条河原町 - 祇園	広域交通の結節点で商業拠点でもある京都駅と中心市街地の四条河原町周辺地区を連絡するとともに、中心市街地内の短距離移動を支援する。				
ルート2	東大路線	京都駅 - 東大路通 ┌ 元田中 └ 銀閣寺	広域交通の結節点で商業拠点でもある京都駅と東山の観光地を連絡することにより、観光客の利便性の向上を図る。				
ルート3	今出川線	北野白梅町 ┌ 出町柳駅 └ 銀閣寺	東西の観光地を連絡することにより、観光客の利便性の向上を図る。				
ルート4	中環状線	御池通 ┌ 堀川通 - 五条通 - 河原町通	商業系で従業人口密度の高い中心市街地での短距離移動の支援と、まちの活性化を図る。				
ルート5	小環状線	烏丸御池 - 河原町御池 ┌ 四条大宮 - 四条烏丸 - 四条河原町	商業系で従業人口密度の高い四条通を中心とした中心市街地内の短距離移動を支援する。				
ルート6	堀川線	京都駅 - 堀川今出川	堀川通に沿った歩行者空間ネットワーク整備地区と職住共存地区を連絡し、歩くまち京都の実現を支援する。				
ルート7	大環状線	西大路通 - 北大路通 ┌ 九条通 - 東大路通	数多くの放射方向の鉄道と結節しフィーダー機能の強化を図る。また、東山、北山、西山の観光地を連絡し、観光客の利便性の向上を図る。				

既存の公共交通とは、京福電鉄・叡山電鉄を示す。

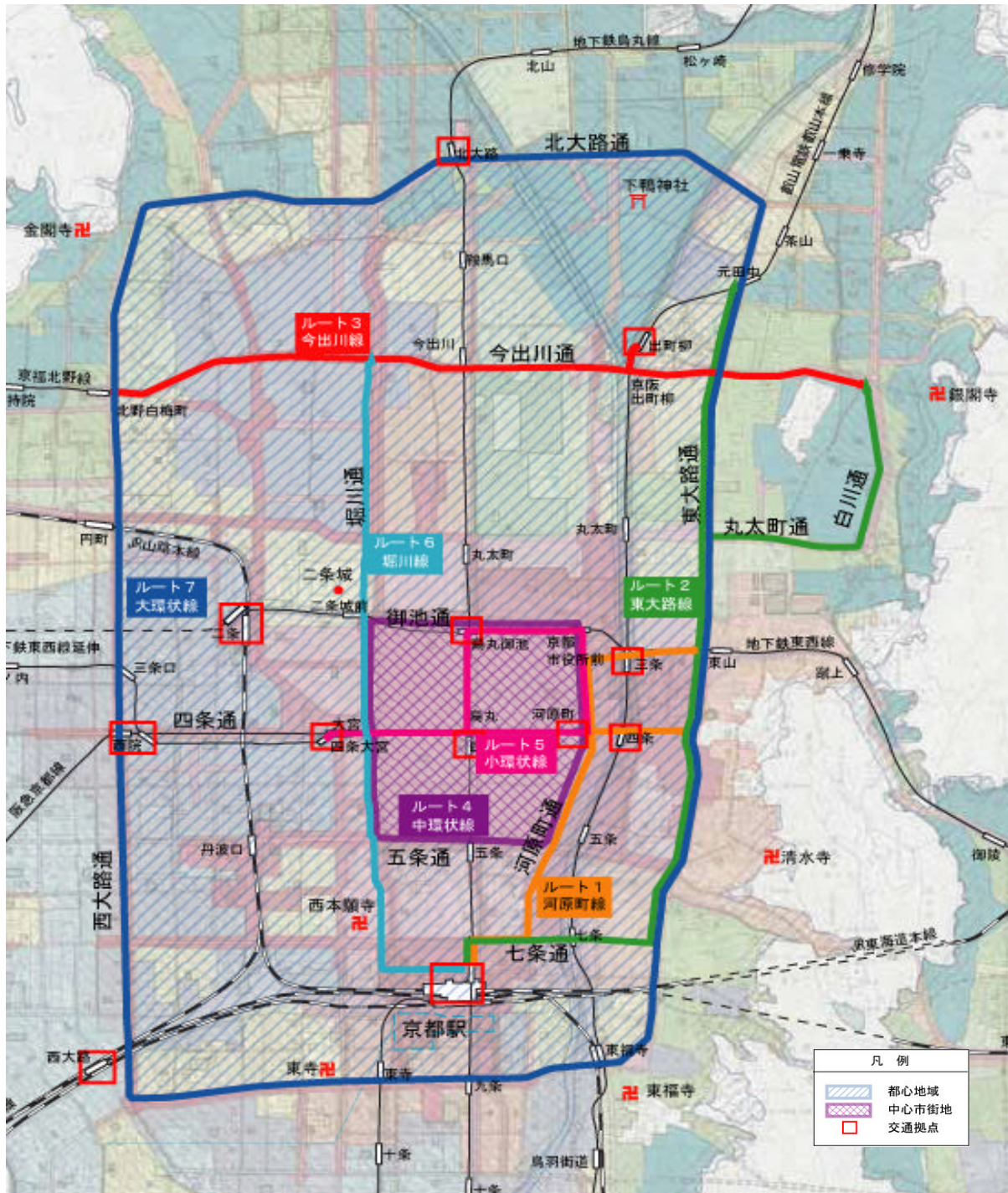


図 検討ルート